

第4学年\*組 社会科学習指導案

指導者 大場 俊彦

1 単元名 ごみのしよりと利用

2 単元の目標

社会的事象への関心・意欲・態度	ごみの処理に関わる対策や事業に関心をもち、意欲的に調べるとともに、地域社会の一員としてごみの減量や資源の再利用などの取り組みに協力しようとする。
社会的な思考・判断・表現	ごみの処理に関わる対策や事業が、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現することができる。
観察・資料活用の技能	施設・設備などを観点にもとづいて見学・聞き取り調査を行ったり、地図や統計などの資料を活用したりして、ごみの処理に関わる対策や事業について必要な情報を集め、読み取ることができる。
社会的事象についての知識・理解	ごみの処理に関わる対策や事業は計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解することができる。

3 指導にあたって

本単元は、私たちの暮らしに身近なごみの処理や利用にかかわる対策や事業について、見学・調査を行ったり、各種資料をもとに調べたりする活動を通して、これらの対策や事業が果たす役割や自分ができる社会への関わり方について考えさせることをねらいとしている。

本学級の児童は、1学期の単元「くらしを守る」において、消防や警察が地域と協力しながら、災害や事件・事故から人々を守っていることについて学習した。各種資料の読み取りや見学・調査などに意欲的に取り組み、関係機関のはたらきや仕組みについて社会科新聞にまとめることができた。しかし、調べたことの羅列に止まっている児童が多く、地域社会の一員として、自分はどうに関わっていけばよいのか明確に記述できた児童は\*人であった。社会的事象を自分事と捉えて考えていくことに課題があると思われる。

指導にあたっては、まず、単元の導入において、町内の海水浴場や集積所などの写真資料や統計資料をもとに話し合ったり、家庭ごみを分別する活動をしたりして、大量のごみはどのように処分されているのかという問題意識をもたせるようにする。そして、各種資料やクリーンセンターへの調査・見学から分かったことを絵カードや「ごみルートマップ」などにまとめる活動を行う。さらに単元後半では、統計資料を提示し、\*町は人口減少しているのに、なぜ、ごみの量があまり減少しないのかという新たな問題を設定する。行政担当者の話などから、その理由や、今後私たちはどのようにごみ減量に取り組んでいけばよいかについて考え、「ごみ減量プラン」としてまとめていくようにする。これらを通して、地域社会の課題について、自分たちがどのように関わっていけばよいか、具体的に考えられるようにしたい。

4 指導と評価の計画 (14時間取り扱い)

次	時	学習活動・内容	評価規準
1	1 2 3	○ごみ集積所の写真を見て、ルールや問題点について話し合い、ごみ分別体験をする。 ○家庭のごみの収集の様子を見学し、ごみ収集に携わる人の工夫について考える。	(関) 身近なごみについて関心をもち、種類や処理方法などについて意欲的に調べようとしている。 (思) *町のごみの処理にかかわる対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
【学習問題①】 大量のごみはどこで、どのように処理されているのだろうか。			
2	4 5 6 7 8 9	○ごみの行き先を予想し、クリーンセンターの見学計画を立てる。 ○センターを見学し、ごみがどのように処理されているかを調べる。 ○見学メモを生かし「絵カード」をつくり、ごみ集積所からのごみの行方を経路図に表す。	(技) 施設・設備などの観点にもとづいて見学・聞き取り調査を行ったり、地図や統計などの資料を活用したりして、*町のごみの処理に関わる対策や事業について必要な情報を集め、読み取っている。 (技) ごみ処理の方法について、調べたことをノートや作品などにまとめている。
3	10	○統計資料等から町のごみ処理の問題点について話し合う。	(知) ごみの処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを理解している。
【学習問題②】 *町は人口が減っているのに、なぜ、ごみは減らないのだろうか。			

11	○*町のごみ処理の現状や資源	(関) 地域社会の一員として、*町のごみの減量や資源
12	ごみの活用について、町役場	の再利用などの取り組みに協力しようとして
13	の担当者のお話を聞く。	いる。
⑭	○みんながゴミ出しのルールを	(思)*町のごみの処理にかかわる対策や事業が、地
(本)	守り、ごみを減らしていくた	域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持
	めのプランを考え、家庭や地	と向上に役立っていることを自分たちの生活と
	域へ提言する。	関連付けて考え、適切に表現している。
		(知)*町のごみの処理にかかわる対策や事業は計画、
		協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や
		良好な生活環境の維持と向上に役立っているこ
		とを理解している。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

地域のごみの減量化に向けて、自分にできることを考えることができる。(社会的な思考・判断・表現)

### (2) 準備・資料

ワークシート(ごみ減量プラン)、拡大写真(ごみ出し、クリーンセンター等の様子)、拡大統計資料

### (3) 展開

学習活動・内容	支援の手立てと評価
<p>1 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ごみ減量プランをもとに、わたしたちにできることを考えよう。</p> </div> <p>2 ごみ減量プランをもとに話し合う。</p> <p>(1) 自分の減量プランを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定ごみ袋やレジ袋を値上げした方がいい。</li> <li>・ごみ出しマナーアップキャンペーンに取り組みたいな。</li> <li>・3Rをもっと広めるポスター・チラシづくりをしてみよう。</li> <li>・学校でも細かい分別に取り組みたいな。</li> </ul> <p>(2) プランについて全体で話し合う。</p> <p>[メリット]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンペーンなどで呼びかければ、みんなの意識も少しずつ変わってくると思うよ。</li> </ul> <p>[デメリット]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋が高くなりすぎると、ルールを守らないで出す人が増えるのではないかな。</li> <li>・細かいいきまりを作りすぎると、減量作戦はあまり長続きしないと思うよ。</li> </ul> <p>3 グループでプランをまとめる。</p> <p>[学校で]・分別ボックスの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の牛乳パックのリサイクル</li> <li>・ポスターや集会での呼びかけ</li> </ul> <p>[家庭で]・リーフレットでの呼びかけ</p> <p>[地域で]・集積所でポスターによる呼びかけ</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家でごみを出すときにプランを参考にしたいね。</li> <li>・プランを町の人にも知ってもらいたいな。</li> <li>・出前授業をしてくれたAさん(*町生活環境課)に見てもらいたいね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習への意欲を高めるために、前時までの意見交流やプランづくりを通して、それぞれの考えが深まってきていることを称賛する。</li> <li>・ごみ減量プランの話合いの際の参考とさせるために、これまでの学習で使用した写真や資料を掲示しておく。</li> <li>・話合いを活発にするために、根拠や理由を明確にして自分の減量プランを発表するよう助言する。</li> <li>・より実現可能なプランにしていくために、メリット、デメリットを考えるよう助言する。</li> <li>・減量化には、さまざまな人たちの協力が必要であることを理解させるために、学校、家庭、地域のそれぞれでどんな取り組みが容易にできるか分けて考えるよう助言する。</li> <li>・プランを絞り込むために、話合いの中で挙げたメリット、デメリットをもとに判断し、まとめていくよう助言する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑮ (社会的な思考・判断・表現)</p> <p>地域のごみの減量化に向けて、自分にできることを考えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">【発言・ワークシート】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の一員として、協力していくことの大切さを意識させるために、児童の減量プランづくりを称賛するとともに、町役場の担当者へプランを届けることを伝える。</li> </ul>